

愛知県ハンガリー友好協会会報

2017年初春号

《 年 頭 の 辞 》

愛知県ハンガリー友好協会会長
参議院議員 藤川 政人

新年あけましておめでとうございます。

愛知県ハンガリー友好協会の皆様におかれましては、ご健勝にて新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。



協会設立 20 周年となる本年を迎えるにあたり、これまで長年に亘り日本とハンガリーとの友好の架け橋としてご尽力いただきてきた皆様に感謝申し上げますとともに、節目の一年として飛躍の年となりますように、会員各位のご活躍とご健勝をお祈り致します。

昨年を振り返りますと、本会ではハンガリーフェスティバル in 愛知をはじめ、ハンガリー刺繍教室、ハンガリー語講座、小牧市のハンガリー展や料理を楽しむクリスマス会など多くの行事や教室を開催し、たくさんの方がこの愛知県でハンガリーの文化を体験されました。開催にあたりご尽力、ご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

日本とハンガリーは伝統的に良好な関係を築いてきましたが、九千キロ離れた両国の互いの文化を深く知る機会が少ないのが現状です。また、経済関係において輸出入ともに一般機械、自動車を始めとする輸送用機器が半分以上を占め、県下の企業が支店を持つなど、モノづくりの愛知県との深い関係があります。愛知県ハンガリー友好協会が互いの文化を学ぶ場として、両国の一層の友好に寄与されますように、また協会の皆様が熱意をもって楽しく活動に取り組みれますように今後も努力して参ります。

末筆になりますが、皆様の今年一年のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



《ハンガリー料理でクリスマス会》“THE ハンガリーの食卓”

年末の恒例行事「ハンガリー料理でクリスマス会」が昨年12月18日(日)9:00から名古屋国際センター3F第1研修室で行われました。今回は“THE ハンガリーの食卓”と題してハンガリーの食卓にお馴染みの「グヤーシュスープ」「ビーツサラダ」「パラチンタ」を作りました。

指導は会員の遠藤綾女さん、今年で3年目です。皆さんもお料理上手で手際よく準備をいたしました。



まず、「グヤーシュスープ」。牛肉は国産すね肉約6キロ、玉ねぎ、じゃがいも、人参、それに白にんじん、それぞれ一口大くらいに切り、ハンガリーのパプリカ、塩、黒こしょうなどで味付けして煮込みます。グヤーシュスープに欠かせない白にんじんは、悪天候の影響でとても小さくしか育ちませんでした。器に盛って、白にんじんの葉のみじん切りをのせて、とても美味しいグヤーシュスープが出来上がりました。



「ビーツサラダ」は大塚奈美さんの菜園でできたビーツです。

大きめに切ってゆで、酢漬けにしました。

「パラチンタ」はあんこやいろいろなジャムを中に入れ巻きました。



ピック社のサラミ、ステファンペペのパン、スズキのワインに加え、参加者も沢山のお菓子などを持ち寄りました。

副会長の酒井庸行先生からの祝電の披露があり、ハンガリーワインで乾杯をして、手作りのハンガリー料理でクリスマス会を楽しみました。



ハンガリー刺繍サークルの皆さんとご主人やお子さんたち、会員以外の方もたくさん来てくださって楽しくおしゃべりしながら美味しくいただきました。



ジュラさんやペーテルさんとても美味しいとグヤーシュを何杯もおかわりしました。



《親子で楽しむ美術館「ハンガリー展」》

“見て、読んで、描いて、パズルもしましょう！”



2016年11月5日(土)～13日(日)10:00～17:00 小牧市まなび創造館市民ギャラリーにおいて親子で楽しむ美術館「ハンガリー展」が開催されました。

小牧市・小牧市教育委員会主催で当協会が企画運営、駐日ハンガリー大使館の後援です。

小牧市まなび創造館4Fは「絵本図書館」や「子育て広場」のあるフロアです。

「絵本図書館」では、受付カウンターにハンガリーと日本の国旗とハンガリーの絵本を沢山展示、「ラチとらいおん」の指人形も一緒に **Jó napot kívánok!** と来館者を迎えて下さいました。



第1展示室には、大使館からお借りしたビックパネル9枚、「ハンガリーとは アジアの血を受け継ぐ親日家の国」「温泉 世界に冠たる温泉大国」「ワイン 料理のおいしい国はワインもおいしい」「音楽三昧 特別ではない普通の日々にも一流の音楽が人々を包みます」「ブダペスト ドナウの真珠と称えられる雄大な景色が人々を魅了します」「伝統 伝統遺産の地、ハンガリー」「美食 千年の時を超えて受け継がれたハンガリー料理」「文化 アジアの伝統に根差した文化」「世界遺産 全国に8つの世界遺産」を展示、ここでは、沢山の絵本を読んだり、ぬり絵をしたり、ルービックキューブやらいおんとうさぎのぬいぐるみで遊んだりと子供たちが楽しみました。



ぬり絵に夢中です

第2展示室では、11月5日、6日、12日、13日の4日間、小牧市「読み聞かせグループ」のご協力でハンガリーの絵本の読み聞かせがあり、子供たちは、お父さん、お母さん、おばあちゃんと一緒に話に聞き入っていました。



また、6日の午前と午後にはチョルダーシュ・ジュラさんがわかり易い説明とともにハンガリーの曲をアコーディオンで演奏しました。最後には、動物の謝肉祭のように、おんどりやことり、羊など10匹の動物の鳴き声の歌をみんなで歌いました。日本の動物とはちょっと違った鳴き方で、なかなか上手に歌えなかったのですが楽しそうでした。



ハンガリー音楽 軽快な調べ

出身男性、小牧で演奏

ハンガリー出身のチョルダーシュ・ジュラさんが6日、小牧市小牧3の市まなび創造館市民ギャラリーで、アコーディオンで故郷の音楽を演奏する催し

「ハンガリーの子供たちが伝統的な祭りや街並みを描いた水彩画二百点が飾られた会場で、ジュラさんは同国の作曲家コダーイ・ソルトーンの『タベの歌』を弾いた。

ジュラさんは曲の合間に「ハンガリーの伝統的な音楽は速いテンポとゆっくりな調べが交互に入れ替わる」と説明した。来場者は軽快なリズムに体を揺らしていた。(藤原啓嗣)

展の一環。同市舟津の志村美佐子さん(66)が理事を務める県ハンガリー友好協会が企画し、市が主催した。

アコーディオンでハンガリーの曲を演奏するジュラさん(右)＝小牧市小牧3の市まなび創造館市民ギャラリーで

ハンガリーで有名なアニメ「耳がチェック柄のうさぎ」は毎日随時上映しました。映像と音楽だけですが小さな子供たちが楽しんでいました。



中日新聞 11月7日朝刊

第3展示室は、ハンガリー刺繍の展示です。ハンガリー刺繍サークルの作品を4つのガラスケースに、カロチャ、マチョー、ベーケーシュ、イーラーショシュ、ウーリーなどいっぱい展示しました。また、世界無形文化遺産に登録されているマチョー刺繍の民族衣装男女は、とても美しく豪華です。刺繍サークルのメンバーには夏に予定している作品展「マチョー刺繍」制作の励みになりました。



マチョー刺繍の民族衣装



マチョー



カロチャ



ウーリーとイーラーショシュ



ペーゲーシュ

読売新聞
11月10日



ハンガリーの子供たちの絵画は3つの展示室に約200点を展示しました。日本の子供たちとは違う色彩や描き方に感動していただけたようです。期間中小きなお子さんから年配の方まで約1000人の来場者がありました。

このほか、ハンガリーの民族衣装に使われる刺しゅうや絵本の展示なども行っている。12日午前11時から、13日午後2時から、ポランティアグループによる絵本の読み聞かせもある。志村さんは「色彩もデザインも違うハンガリーの子供たちの美術作品を通して、異文化体験ができる。気軽に足を運んでもらえれば」と話している。入場無料。

●特別企画展 ヘレンド ―皇妃エリザベートが愛したハンガリーの名窯―



会期：2017年1月7日(土)～3月26日(日)
会場：愛知県陶磁美術館 第1・第2・特別展示室
開館時間：AM9:30～PM4:30 (入館はPM4:00まで)
観覧料：一般900円・高大生700円・中学生以下無料

デパートなどで売られているヘレンドとは違って、古いものから現代までの素晴らしい芸術作品が展示してあります。学芸員の方の説明がとてもわかりやすく勉強になります。是非展示解説のある日にご覧になってはどうでしょうか？

ヘレンドの名品240点
 県陶磁美術館 企画展が開幕

ヨーロッパの貴族に愛好されたハンガリーの陶磁器の名品を紹介する特別企画展「ヘレンド―皇妃エリザベートが愛したハンガリーの名品―」（県陶磁美術館、読売新聞社など主催）が7日、瀬戸市の県陶磁美術館で開幕した。

ヘレンドは、ドイツのマイセンやフランスのセーブルと並ぶ高級磁器で、ハンガリーの古都ブダペスト近郊の村ヘレンドで1826年から生産が始まった。職

人による繊細な絵付け技術が人気を博し、オーストリア・ハンガリー帝国の皇妃エリザベート、大英帝国のビクトリア女王などが顧客名簿に名を連ねたという。今回展示しているのは、ブダペスト国立工芸美術館などが収蔵するヘレンドの名品約240点。入場者は、華やかな色彩と気品のある美しさに目を奪われていた。

開幕に先立って行われた開会式では、県陶磁美術館の堀井奈津子総長ら約150人が出席し、テープカットを行った。観覧料は一般900円、高大生700円、中学生以下無料。問い合わせは同美術館（0561・84・7474）。

ヨーロッパの貴族に愛好された華やかな色彩の名品を見学する入場者（瀬戸市で）



色絵金彩「ハンガリアン・ナショナル」文皿
 刺繍のベーケーシュやウーリーの模様
 に似てるようです。

読売新聞 1月8日

● **森典子 ファルヴァイ・シャーンドル リサイタル 2017** （後援事業）

NORIKO MORI FALVAI SANDOR RECITAL 2017
森典子・ファルヴァイ・シャーンドル
リサイタル 2017

バイオリン 森典子
 ピアノ ファルヴァイ・シャーンドル

バルトーク/ルーマニア民俗舞曲 Sz.56
 Mendelssohn/Violin/Piano 三重奏曲 第1番 二短調 op.49
 Klavier Nr.1 d-moll/Felix Mendelssohn
 Brahms/ピアノ五重奏曲 へ短調 op.34
 Klavierquintett Op.34, Johannes Brahms

2017.3.1 18:45 開演
 18:15 開場
ザ・コンサートホール
 名古屋伏見電気文化会館

入場料：全席自由 前売3,000円
 当日3,500円
 ※未就学児不可

チケット申し込み
 ambt@hotmail.co.jp

日時：2017年3月1日(月) 18:45 開演 18:15 開場
 場所：ザ・コンサートホール（名古屋伏見電気文化会館）
 演奏：森典子(ヴァイオリン)
 ファルヴァイ・シャーンドル(ピアノ)
 森悦子(ヴァイオリン) 戸塚伊理一(ヴィオラ)
 松村厚子(チェロ)

曲目：バルトーク/ルーマニア民俗舞曲 Sz.56
 メンデルスゾーン/ピアノ三重奏曲 第1番 二短調 op.49
 ブラームス/ピアノ五重奏曲 へ短調 op.34

入場料：全席自由・3000円（未就学児不可）

（チケット申込み ambt@hotmail.co.jp 協会事務局まで）

リスト音楽院の院長だったファルヴァイ・シャーンドル先生のピアノはとても素敵な音色です。今回のプログラムはピアノが中心の曲ばかりです。是非聴きましょう！

《 事務局より 》

お健やかに佳き初春をお迎えのことと存じます。
 今年は協会設立から20年になります。それを記念した「ハンガリーフェスティバル in 愛知」(6月11日)、「ハンガリー刺繍サークル作品展」(7月29日～8月2日)「記念誌発行」「総会」、また、恒例の「ハンガリー料理でクリスマス会」「ハンガリー語入門講座」「ハンガリー刺繍サークル」と沢山の事業を予定しております。皆様是非ご参加くださいますよう、よろしくお願いたします。